朝日小学生新聞　(第三種郵便物認可)

追いこみ学習でパワーアップをめざそう！

本番の入試が近づいてきました。この時期からの追いこみで、ぐんと力をのばす受験生が多いといいます。効果的な勉強法と心構えを麻布個人指導会の先生に聞きました。

（協力・麻布個人指導会）

ポイント1　本気モードが原動力

秋になってから力がのびる受験生はたくさんいます。その背景には「精神的な成長」があると感じています。あこがれの学校の過去問（実際の入試問題）に取り組みだすと、受験生の気持ちは「本気モード」に変化します。勉強に集中するようになり、その結果として力が飛躍的に高まるのです。

「模擬試験（模試）の成績に一喜一憂しない」「合格判定で可能性が低くても第1志望校はかえない」などと、よくいわれますが、それには理由があります。これからの勉強で力が高まり、合格圏に届くことが期待できるからです。

志望校をめざす気持ちは、勉強に本気で取り組むための大きな原動力になります。これからののびを信じて、勉強に集中しましょう。

ポイント2　計画的に時間を確保

秋からの勉強は過去問の演習が中心になります。第1志望校は5年分以上が一つの目安。10年分ほど解くのがいいかもしれません。併願校の場合、少なくとも3年分を解きます。

1回目の採点をするとき、合格最低点をチェックします。この時期に合格ラインに届いていなくても、それほど気にする必要はありません。「どのような問題で得点すればいいか」を考え、対策を立てることが重要です。そのうえで国語以外の科目は同じ年度の過去問を2回以上解きましょう。

過去問に取り組む時間を確保するのはそう簡単ではありません。スケジュールを立てて計画的に進めます。塾の特別講座などは、必要なものだけにとどめるといった配慮も大事です。

ポイント3　志望校のレベル実感

過去問を解く目的は、志望校の出題傾向を理解することにあります。ただし、傾向をとらえることができたからといって、それだけで満足しないようにします。このような受験生は意外に少なくありません。

最も大切なのは、志望校の出題に対応できる力を身につけることです。目標となるレベルを確認し、そのために必要な課題を見つける「材料」として、過去問を活用します。まちがえた問題は自分の弱点と考え、テキストにもどっておさらいします。

漢字の書き取りや計算の練習、知識事項の整理など、これまで取り組んできた勉強もおろそかにしないように気を配ります。過去問の演習とバランスよく進めましょう。

ポイント4　保護者は冷静に見守る

入試が近づくにつれて、受験生はもちろん、保護者も落ち着かない気持ちになりがちです。勉強の仕上がり具合や模試の成績などから、あせったり、不安になったりすることがあるかもしれません。

けれども、保護者が自分の気持ちをそのまま、おもてに出すのはひかえましょう。保護者のあせりや不安が受験生に伝わることでプラスになるものなど何もありません。

なまけている姿などを自の当たりにすると、つい小言を並べたくなるにちがいありません。そんなときは一呼吸。気持ちを直接ぶつけず、家庭教師や塾の先生を仲立ちにして間接的に伝えるのも一つの方法です。保護者は余裕をもって受験生に接し、温かい気持ちで見守る姿勢が求められます。

4科の学習ポイント

国語　過去問を研究して効率のいい勉強を

佐々木　勝先生

受験生は秋からそわそわしくなるので、効率のよい学習が求められます。それには過去問の研究が効果的です。

過去問では、まず出題形式に注目します。「選択肢」「記述」「選択肢＋記述」などがあり、合って出しているかを調べます。これらを志望校がどのような出題傾向なのかを知ることができます。

選択肢の問題では「正答の選択肢に間違いにない表現が入っている」「長文の選択肢に間違文のキーワードが入っている」「正答のように見えるが「不適切な一語」が入っている」といったパターンがあります。学校ごとの「くせ」が出やすいので、傾向をとらえます。

記述の問題では字数と各校の特徴が出ます。20～50字程度「100字まで」などと加えて、学校も増えています。それぞれに対応した練習が必要です。

読解問題で出題される文（素材文）の分野も重なるも確認します。「説明的な文章」と「文学的な文章」があります。詩や短歌、俳句は二つ数年で一度でも出ていれば、関連する知識事項を整理しておきます。

説明的な文章には、説明文や論説文などがあります。説明文は、細部にこだわらず客観的な記述を正確に読み取ります。論説文は、作者の主張と、根拠を区別しながら読むことを心がけます。

出題傾向の把握は受験生だけでは難しいので、保護者の協力が必要になります。できれば保護者が3年分と解いてから、教えてほしいと思います。

国語の場合、第1志望校の過去問を10年分つづけて解いたあとに、第2志望校を5年分解くといったように、同じ学校に連続して取り組みましょう。学校ごとの傾向性を見つけるのに役に立ちます。

算数　標準レベル解く力　演習で必ずつける

吉場　大祐先生

算数はできるだけ早めに志望校の過去問にふれてみます。本番までに、どの程度の難易度の問題を解けるようになればいいのか、感覚を確かめることが大切だからです。もちろん、この時期に解けなくてもあせる必要はありません。これからのがんばりで十分、対応できるようになります。

重要なのは、すべての単元で標準レベルの問題を確実に解く力をつけることです。模擬試験（模試）でいえば正答率が40～60％の問題にあたり、本番でも最もよく出ます。もし、このレベルの問題でまちがえていたら、重点的に復習しなければなりません。

受験勉強の道のりを考えたとき、最初のころに取り組んだ内容は理解があややになっていることがあります。「角度」や「規則性」のように、4年生で学んだところなどは、その代表例といえるでしょう。

解法を正確におぼえないまま、何となく解いているケースもよくあります。改めて復習して正しい解き方を確認することが欠かせません。

計算練習は継続することが重要です。特に、解くときに多くの計算式が入る問題は入試によく出るので、しっかり練習します。算数を得意としている受験生のなかには、こうしたタイプの問題をうまく組み合わせて解こうとしてミスをする人がかなりいます。いろいろな学校の過去問を利用して、毎日3題ほど解くのがおすすめです。

標準レベルの問題を解く力がついたら、難易度がワンランク上の問題に挑戦し、難しい問題はちょっと……と気おくれするかもしれませんが、その考えは標準レベルの問題を組み合わせたつくりになっています。基礎がしっかりしていれば、解くための糸口に気がつくでしょう。

理科　取り組みは早めに　知識の確認も目標

富永　恭子先生

理科の勉強を本格的に始めるのは秋になってから、という受験生はかなりいるようです。そのため、過去問に取り組むのは力がつく12月以降、と指導する塾もあります。でも、秋は学校行事などがあり、その準備や練習で予定通りに勉強がはかどらないかもしれません。過去問の演習を後回しにしておくと、本番までに終えることができない心配があります。

そのようなことがないよう、まだ、運動の学習を終えていなくても、早めに過去問に取りかかることをおすすめします。「過去問は知識を増やすための材料」といった程度の意識でかまいません。点数にこだわらず、まちがえた分野をテキストで見直します。

最近は上位校や難関校の出題で「実験や観察データを考察する問題」がめだちます。こうした問題は、基礎をわかりやすく学べるように作られています。一般的なテキストには、まずのっていません。取り上げられる実験も、おそらく見たことがないでしょう。対応するには慣れるのが「近道」といえそうです。

ただし、そのために少しでも多く過去問を解かなければ、などと考える必要ではありません。初めて見る実験でも、身につけた知識をうまく組み合わせて対応できることがあるからです。

過去問の演習の目的に「知識事項の確認」を入れておくと効率よく取り組めるでしょう。

時事問題への対策も忘れないようにします。「米春の入試に向けてマークしておきたいのは「地震」です。震源からの距離や震動が伝わる時間などを計算で求める問題がよく出るので練習しておきます。ノーベル医学・生理学賞に選ばれた大隅良典さん、テーマの「オートファジー」のしくみの発見」をおぼえておくのも大事です。

社会　知識の習得が大事　他校の問題も活用

村本　和徳先生

ほかの科目と同じように、この時期からの勉強は、過去問の演習が中心になります。第一志望校や併願校だけでなく、同じようなレベルの学校もふくめて挑戦しましょう。

社会の場合、過去問の演習で出題傾向をおさえることにこだわりすぎないようにするのがポイントといえます。たとえばよく出るが春であっても、来春の入試で必ず出るとはかぎりません。本番で傾向がかわったことに気がついて、かえって動揺し、本来の力が出せなくなる受験生もいます。

社会で何よりも重要なのは知識。その補強には受験する学校の問題もちろん、それ以外の過去問もたくさん役立ちます。

社会でのひたすらやっている受験生はます、公民の知識を増やすことがおすすめです。おぼえるべき事柄がある程度、かぎられているからです。たとえば憲法9条（戦争の放棄）や4条（法の下の平等）などは暗記しましょう。たとえば、受験生にとって公民は抽象的な概念で、身近なものとしてとらえにくい面があります。でもそこからは、保護者がていねいに説明してあげるといいですね。

地理を苦手とする受験生は「一言葉」から見直します。試験でよく出るものの、勉強が後回しになりがちな工業です。どの都市でどのような工業が発達しているのかを整理しておきましょう。そのうえで農業、地形（山脈、川、平野など）をおさらいします。

歴史は「江戸時代から明治時代」「大正、昭和時代」「太平洋戦争の前後」を重点的に勉強します。江戸時代は三大改革の特色、明治時代は大政奉還、廃藩置県などがおこなわれた順序、太平洋戦争は戦前、戦中の流れと、日本国憲法の制定をはじめとする戦後の改革が重要です。

一人ひとりの合格こそが実績です！ 合格者のべ819名

2016年度　中学合格実績　（五十音順）

男子 ＝127校のべ457名の輝くゴール＝

青山学院	2名	聖光学院	5名
浅野	6名	成城	8名
麻布	6名	世田谷学園	7名
市川	12名	専修大松戸	4名
栄光学園	3名	高輪	9名
江戸川取手	6名	中央大附属	3名
海城	13名	筑波大駒場	3名
開成	5名	東京都市大付属	12名
開智	5名	東京農大一	3名
学習院	9名	桐朋	4名
鎌倉学園	4名	東邦大東邦	10名
暁星	6名	獨協	8名
慶応湘南藤沢	2名	日大一	3名
慶応中等部	3名	広尾学園	8名
慶応普通部	4名	法政大学	4名
攻玉社	7名	法政第二	3名
国学院久我山	8名	本郷	10名
駒場東邦	8名	武蔵	3名
栄東	17名	明大明治	3名
サレジオ学院	2名	ラ・サール	3名
芝	15名	立教池袋	3名
渋谷教育渋谷	2名	立教新座	8名
渋谷教育幕張	5名	早稲田	7名
城北	8名	早稲田高等学院	3名
巣鴨	8名	早稲田実業	2名
逗子開成	3名	公立一貫校	6名
成蹊	4名	他多数合格	

（本年度男子受験生の実数は129名です）

女子 ＝128校のべ362名の輝くゴール＝

青山学院	3名	頌栄女子学院	7名
跡見学園	4名	女子学院	6名
市川	9名	白百合学園	3名
浦和明の星	7名	成蹊	3名
江戸川女子	3名	洗足学園	5名
桜蔭	5名	専修大松戸	3名
鷗友学園	7名	中央大附属	3名
大妻	6名	中央大附属横浜	2名
大妻中野	3名	東京女学館	6名
開智	3名	東邦大東邦	7名
学習院女子	6名	東洋英和	4名
鎌倉女学院	3名	豊島岡女子	7名
吉祥女子	7名	日本女子大附属	3名
共立女子	7名	広尾学園	5名
慶応湘南藤沢	2名	フェリス女学院	2名
慶応中等部	2名	富士見	5名
恵泉女学園	3名	雙葉	3名
光塩女子学院	2名	普連土学園	6名
晃華学園	2名	三輪田学園	4名
国府台女子	2名	明大明治	3名
香蘭女学校	4名	山脇学園	5名
国学院久我山	7名	横浜共立	3名
栄東	10名	横浜雙葉	3名
実践女子学園	5名	立教女学院	3名
品川女子学院	4名	早稲田実業	3名
渋谷教育渋谷	3名	公立一貫校	5名
渋谷教育幕張	2名	他多数合格	

（本年度女子受験生の実数は95名です）

※受験まで指導しなかったケースや、夏期、冬期だけの短期の在籍生は含んでいません。

学生は一切派遣していません

創立30年　中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

専門家庭教師の指導・知識・経験をお役立て下さい

憧れの第一志望校への合格　専門家庭教師が実現させます

○横林 芳雄（よこばやし よしお）　担当教科：算数・理科
中学受験の指導歴は20年以上。当会で送り出した受験生は延べ150名以上にのぼる中核的な講師の一人。男女御三家や早慶付属校などの難関校へ毎年コンスタントに合格者を排出する一方で、伸び悩んでいる受験生の実力を引き上げる手腕にも定評がある。
（最近の合格実績）筑波大駒場、開成、麻布、女子学院、駒場東邦、聖光学院、慶応普通部、慶応中等部、早稲田、海城、吉祥女子、鷗友学園、芝、桜蔭、本郷など。

○高橋 晋子（たかはし しんこ）　担当教科：国語
個別指導塾や家庭教師として受験指導の経験を積み上げている国語のベテラン講師。国語嫌いの受験生でも無駄のない指導で読解力と記述力を引き上げている。落ち着いた面倒見の良い指導が持ち味の講師で、学年や性別を問わず人気がある。
（最近の合格実績）浅野、サレジオ学院、芝、攻玉社、世田谷学園、立教池袋、洗足学園、桐蔭学園、法政第二、横浜雙葉、鎌倉女学院、成城学園、森村学園など。

○神崎 啓史（かんざき ひろし）　担当教科：算数・理科
大手進学塾にて受験指導の経験を積み、現在は中学受験専門の家庭教師として活躍中。論理的でテンポのよい指導が持ち味で、受験生の実力を伸ばす指導技術には定評がある。男子にも女子にも人気の講師で、毎年多くの受験生を志望校へ送り出している。
（最近の合格実績）麻布、武蔵、雙葉、筑波大附属、慶応中等部、海城、豊島岡女子、白百合、お茶の水女子大附属、芝、攻玉社、学習院女子、青山学院、渋谷渋谷など。

○小松 剛（こまつ たけし）　担当教科：4教科
4教科に対応するオールラウンダーで、長年にわたり専門家庭教師として活躍している。難関校を目標とする受験生から4・5年生の指導までの確な指導で結果を出している。経験・実績ともに豊富で首都圏の中学受験情勢に明るく、過去問の研究にも余念がない。
（最近の合格実績）開成、麻布、早稲田、渋谷幕張、浦和明の星女子、海城、芝、共立女子、東邦大東邦、市川、江戸川学園取手、栄東など。

○石井 豊（いしい ゆたか）　担当教科：算数・理科
中学受験の指導歴20年以上のベテラン講師で、切れ味鋭い指導で実力を引き上げている。また、男女御三家などの難関校への合格実績は当会でも群を抜く。今年度朝日小学生新聞にて算数の学習欄を執筆するなど、中学受験の算数指導の本物のプロフェッショナル。
（最近の合格実績）筑波大駒場、開成、麻布、桜蔭、女子学院、駒場東邦、栄光学園、聖光学院、渋谷幕張、早稲田、慶応普通部、豊島岡女子、海城、巣鴨、吉祥女子など。

○田中 由利（たなか ゆり）　担当教科：国語
大手進学塾系列の個別指導教室にて受験指導の経験を積む。自身の中学受験の経験を活かした受験生を盛り立てるアドバイスと丁寧な指導が持ち味の講師。毎年、特に国語を不得手としている受験生の実力を確実に引き上げて合格へと導いている。
（最近の合格実績）吉祥女子、鷗友学園、青山学院、芝、世田谷学園、頌栄、東洋英和、大妻、共立女子、田園調布、高輪、大妻中野、品川女子、実践女子など。

入会の制約のない体験授業

入会は前提ではありません。また事前の申込書のご記入や、費用をいただいたりすることはありません。

■ 体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。体験授業を受けたあとでも入会を見送ることができます。
■ 体験授業は担当講師で行います。体験授業だけの講師ではありません。
■ 指導料、交通費、教材費等一切が無料です。
■ 体験授業は1時間30分ですが、前後に講師への質問や面談の時間もお取りいたしますから合計2時間程度の時間をお考え下さい。
■ 体験授業といえども実りある指導にするため打ち合わせをします。
■ 万一の場合には別の講師を人選し、再度体験授業を受けられます。

指導料は完全な後払い

●入会金　20,000円（税別）　一家庭無期限有効
●月額指導料　48,000円～72,000円（税別）〈週1回・各2時間の授業で月4回の場合〉
※入会金は体験授業でご納得いただいた後のご請求です。
※指導料の範囲は講師の経験・実績によります。

○入会金は体験授業でご納得いただいた後でご請求いたします。
○指導料は月単位の完全な後払いです。入会後に必要な費用は月々の指導料と講師の交通費のみで、管理費等の不明瞭な費用はありません。
○長期前納、ローン、チケット、預かり金、教材の販売、退会の場合の解約金は一切ありません。
○指導開始後も、多くの学校に受験生を送り込んできた当会の教務が受験校のご相談など、さまざまなサポートをさせていただきます。

講師の交代について

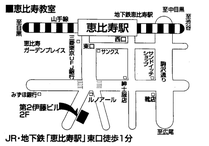
指導開始後に講師と相性が合わない、あるいは成績が上がらない、などの不安を感じた場合は遠慮なく教務にご相談下さい。速やかに講師を交代いたします。もちろん費用は一切かかりません。

講師の交代をきっかけに成績が上がる例も多くあります。30年間の蓄積で当会の専門家庭教師の層は厚く、後任となる講師の実力が劣ることはありません。

また、交代の場合にも体験授業がありますので、ご安心下さい。

中学受験専門教師による個人指導教室併設

圧迫感のない広い個人別の空間で完全1対1の指導をします。専門教師の指導とゆったりした学習環境の理想的な組み合わせを実現しました。



家庭教師センターの比較・格付けランキングサイト等に対する当会の姿勢

これらの比較サイトは家庭教師派遣会社の質は重視されずに、サイトの運営業者に支払った手数料の多寡が重視されてランキングされているように思えます。また運営業者の家庭教師派遣業界に対する知識や見識にも疑問を呈さざるを得ません。

よって当会は家庭教師の比較サイト等には現在の時点での参加は全く考えていません。

●中学受験専門家庭教師派遣
麻布個人指導会

●固定電話から　0120-14-3004
《受付時間》11:00～20:00（日・祝除く）　※ナンバーディスプレイは使用していません。お気軽にお問い合わせ下さい。

●携帯電話から　03-3440-1940

●HPで最新情報更新中　麻布個人指導会　検索

〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F